

2011 年度環境活動レポート

対象期間：2011 年 6 月～2012 年 5 月



認証登録番号
0004315



マトヤ技研工業株式会社
2012 年 6 月 30 日発行

目次

1	経営理念	2
2	環境方針	3
3	組織の概要	4
4	認証・登録の対象組織・活動	5
5	2011 年度環境目標とその実績・評価	6
6	2011 年度環境活動の取り組み計画と評価	8
7	2012 年度の取り組み	9
8	環境関連法規等の順守状況	10
9	代表者による全体の評価と見直し	11
10	環境活動の紹介	12



1 経営理念

社会的信頼と責任

会社を取り巻く人々と誠意を持って協調し、お客様の視点で考え、お客様に安心して安全な機械装置を提案し、社会的信頼と責任を果たします。

会社の発展

永続的発展を第一とする健全経営を推進し、業界の先頭に立ち、絶えず新技術を創造し、社会から支持され、信用される企業経営に努めます。

社員の幸福

社員の幸福の達成に努め、社員は産業人として絶えず研鑽に努め、創意工夫と進取挑戦の精神で仕事に取り組みます。

2 環境方針

マトヤ技研工業株式会社

環 境 方 針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、クーラント製品・遠心分離機・オイル浄化の製造・販売等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 化学物質の適正な管理及び清掃
- ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
- ⑥ 地域清掃活動
- ⑦ 購入資材・事務用品のグリーン購入

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規等を遵守します。

3. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。



制定日：2008年6月 1日

改定日：2011年6月 1日

代表取締役 **益留 福一**

3 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社

代表取締役 益留 福一

(2) 所在地

本社

〒899-8608

鹿児島県曽於市末吉町南之郷 3050-6

大阪営業所

〒561-0853

大阪府豊中市服部南町 1-4-10

東京営業所

〒121-0011

東京都足立区中央本町 4-15-13



ミスターテンドー

第3回かごしま産業技術賞奨励賞

鹿児島県発明くふう展知事賞受賞

第3回ものづくり日本大賞優秀賞

現在適用外

但し、1年以内に適用させる。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 豊増 敏夫 (常務取締役)

環境事務局 益留 房代

連絡先 TEL 0986-76-0018

FAX 0986-76-2729

E-mail info@matoya.com

(4) 事業内容

自動省力機器設計・製作および販売

(5) 事業の規模(2011年度：2011年7月～2012年6月)

売上高 400百万円

	本社	大阪営業所	東京営業所
従業員	32名	2名	2名



豚大腸切開機

第4回かごしま産業技術賞

奨励賞 受賞



牛大腸切開機

第9回かごしま産業技術賞

特別賞 受賞



4 認証・登録の対象組織・活動

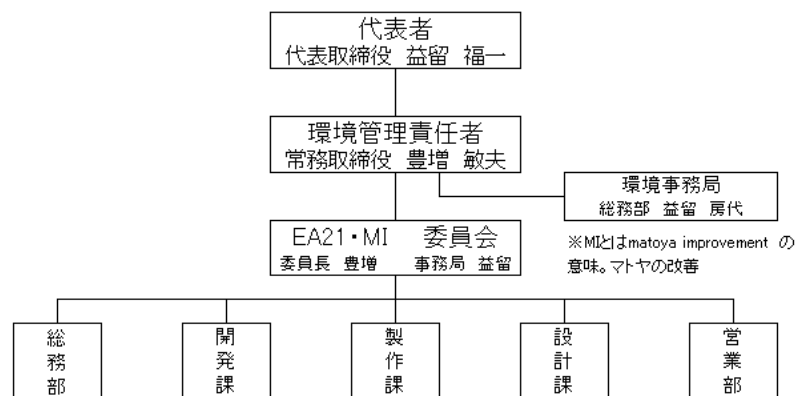
適用組織名：マトヤ技研工業株式会社 本社

適用範囲外：大阪営業所・東京営業所

(1年以内に適用範囲に組み込む予定)

活動：自動省力機器設計・製作および販売

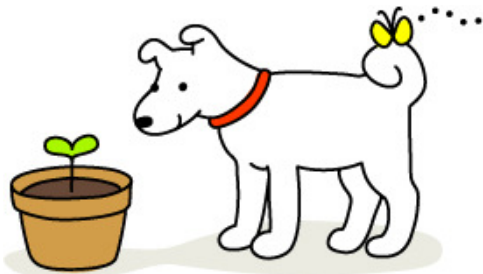
環境経営システム実施体制 →



担 当	役 割・責 任・権 限	担 当	役 割・責 任・権 限
代表者 (代表取締役)	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定・及び全従業員への周知 - 環境目標・活動計画書の確認及び承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの承認	環境事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェックシート及び取組み自己チェックリストの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく遵守評価の実施 - 環境目標・環境活動計画書原案の作成 - 特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト・訓練・記録 - 環境活動の実績集計 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの作成、公開
管理責任者 (常務取締役)	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等とりまとめ表の承認 - 環境目標・活動計画書を確認 - 環境経営マニュアル・環境活動レポートの確認 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口	EA21・MI 委員会 (各部門責任者)	- エコアクションに関する事項の審議・検討 - 従業員に対する教育訓練の実施 - 環境経営システムの実施・環境方針の周知 - 関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告
		全従業員	- 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 - 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 - 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告

5 2011 年度 環境目標及びその実績・評価

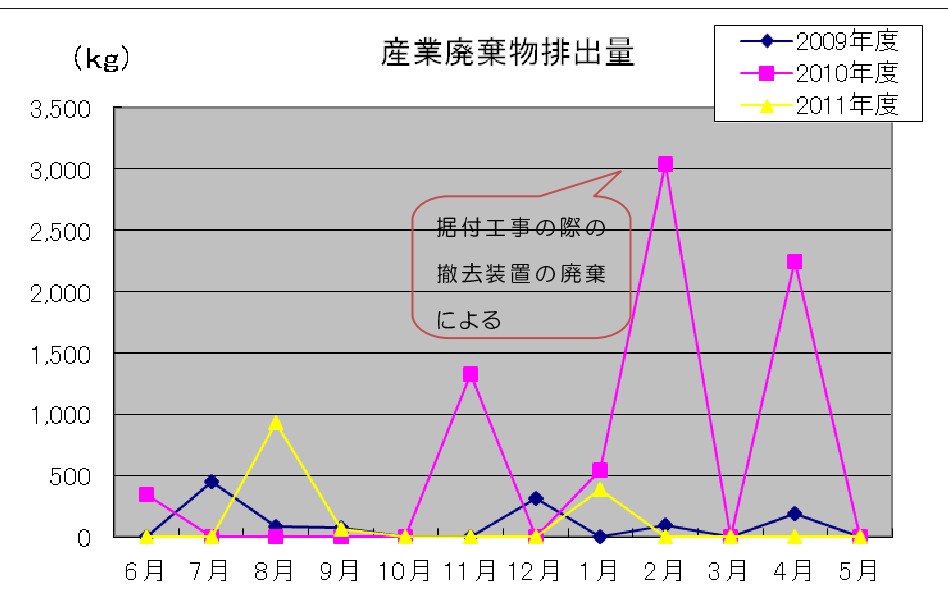
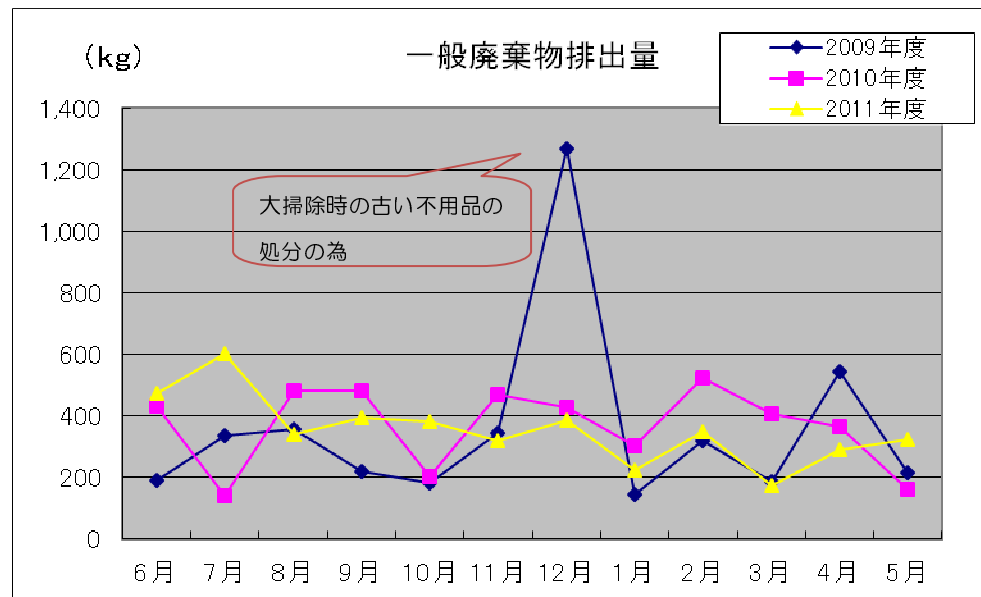
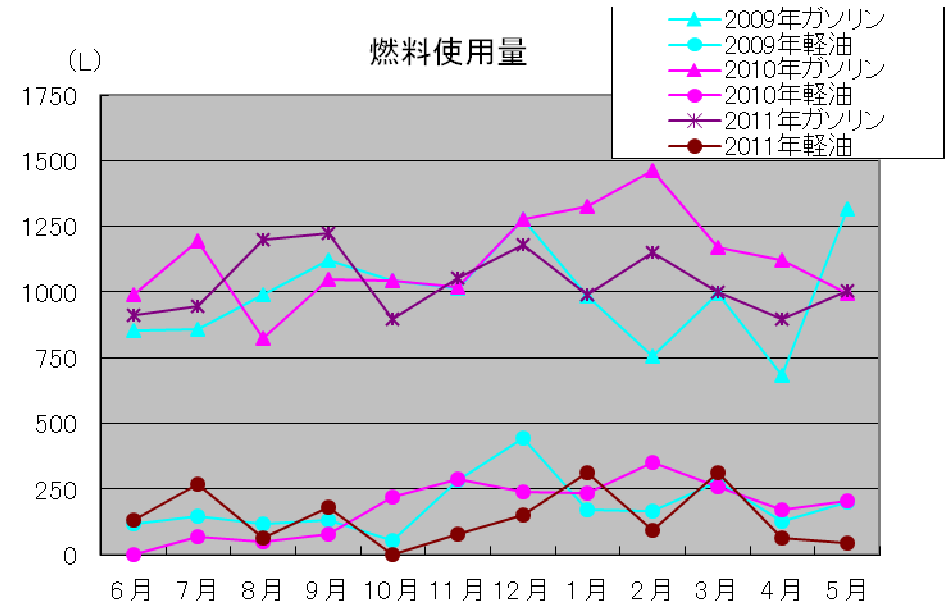
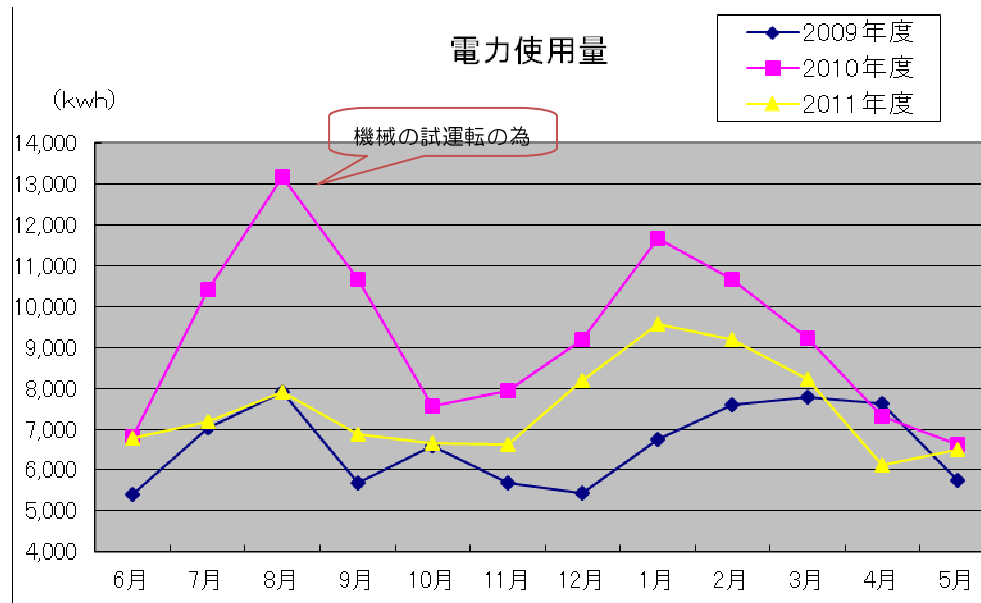
- | 1 | 二酸化炭素排出量の削減 | 目標 | 実績 |
|---|---|-----|------|
| ① | 電力の削減： 基準年比 | △1% | △18% |
| ② | 燃料の削減： 基準年比 | △1% | △2% |
| 2 | 一般廃棄物の削減： 基準年比 | △1% | △2% |
| 3 | 産業廃棄物の削減： 基準年比 | △1% | △81% |
| 4 | 水使用量の削減： 基準年比 | △1% | △14% |
| 5 | 化学物質の低減：化学物質の適正な管理及び保管場所の徹底清掃 | | |
| 6 | ①環境配慮製品の開発及び販売促進：クーラント製品
(金属加工機の冷却、洗浄、潤滑の目的に油性又は水溶性の液をかける。この液の浄化装置の事) 及び遠心分離機等の販売促進
2011 年度販売目標 20 台 販売実績 40 台
②クーラントユニットの開発 | | |
| 7 | 地域清掃活動
2011 年度目標 24 回 実績 40 回 | | |
| 8 | 購入資材・事務用品のグリーン購入
2011 年度目標 事務用品グリーン購入対象品目及び比率調査
実績 64% | | |



項目		年度	* 基準年度	2011 年度		
			実績	目標	実績	評価
売上高	売上高 百万円		615	-	387	-
電力 CO ₂ 排出量	購入電力 kwh		111,237	-	89,946	-
	kg-CO ₂		61,737	61,119	49,920	
	基準年度比		-	△1%	△18%	○
燃料 CO ₂ 排出量	購入ガソリン L		12,687	-	12,455	-
	購入軽油 L		1,950	-	1,687	-
	kg-CO ₂		34,573	34,227	33,343	
	基準年度比		-	△1%	△2%	○
一般廃棄物排出量	kg		4,407.5	4,363.4	4,274.0	-
	基準年度比		-	△1%	△2%	○
産業廃棄物排出量	kg		7,500.0	7,425.0	1,380.0	
	基準年度比		-	△1%	△81%	○
水資源排出量	m ³		457.0	452.0	386.0	
	基準年度比		-	△1%	△14%	○
化学物質の適正な管理と清掃	回		11	21	23	○
環境配慮製品販売量	台		18	20	40	○
地域清掃活動	回		23	24	40	○
事務用品グリーン購入対象品目及び比率調査	%		-	-	64	○

* 基準年度は 2010 年度 ※購入電力の CO₂ 排出係数は、0.555(kg-CO₂/kwh) で計算している

2009年度～2011年度の実績グラフ



6 2011 年度 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×できなかった

取り組み計画		達成状況	評 価	取り組み計画		達成状況	評 価
電力による二酸化炭素排出量の削減				節水			
・冷房温度 28℃設定	◎	エアコンの温度設定、消灯、OAのこまめな消灯は良くできました。緑のカーテンにも挑戦しましたが、出来栄はいまいち。設計室のガラスに貼った断熱フィルムは効果大でした。	・雨水の有効利用（洗車等）	◎	雨水タンクを増設しました。		
・暖房温度の 18℃設定	◎		・雨水タンクの増設	○			
・不要・休憩時間照明の消灯	◎		・節水蛇口の交換	△			
・OA機器のこまめ OFF	◎		化学物質の低減				
・エアコンフィルターの月 1 清掃	◎		・化学物質の適正な管理及び清掃	◎	在庫チェック表を作成し、毎月管理を行いました。		
・緑のカーテン	○		・塗装場清掃毎月 1 回	◎			
・断熱フィルム	◎	・在庫管理を行い在庫を減らす	◎				
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減				製品への環境配慮			
・急加速発進の抑制	◎	日頃の運転に気を付け、社長の車を、ハイブリッドカーへ買換えをしました。	・クーラント製品・遠心分離機等環境配慮製品の販売促進	◎	販売台数は大幅に達成クリアできました。		
・冷暖房の控えめ使用（25℃）	◎		・環境配慮型クーラント製品開発予定	◎			
・買換え時はエコカーを購入する	◎		・製品の計画・進捗状況の把握	◎			
一般廃棄物の削減				社会貢献			
・裏紙使用	◎	裏紙利用は、徹底されました。ミスプリント、再利用も良く取り組み出来ました。シュレッダーの廃紙も、リサイクル業者へ引き取ってもらいました。	・公民館の清掃・	◎	毎週水曜日を、掃除の日と定め、草刈り機等を使用し清掃しました。		
・両面印刷コピーの徹底	◎		・周辺道路の清掃	◎			
・ミスプリントを減らす	◎		購入資材・事務用品のグリーン購入				
・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	◎		・事務用品グリーン購入対象品目及び比率調査	◎	事務用品のグリーン購入対象品の比率調査を行いました。ハイブリッドカーを購入しました。制服もクールビズ・ウォームビズ用を購入しました。		
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎		・購入資材の環境配慮	△			
産業廃棄物（廃プラ）の削減				・省エネ性能の高い電気製品の購入		◎	
・委託処分廃棄物の削減	◎	細かな分別の徹底により削減が上手く出来た。自社のクーラント装置の取り付けはまだ。	・エコカーの購入	◎			
・工事での産廃の分別徹底	◎		・クールビズ・ウォームビズ制服の購入	◎			
・廃油を減らすために自社のクーラント装置を取り付ける	×						

7 2012年度の取り組み

(1) 2012～2014年度 環境目標 (7月～6月)

項目 \ 年度		2009～2011年 度実績平均	2012年度目標	2013年度目標	2014年度目標
電力CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	52,203	51,681	51,159	50,639
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
燃料CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	36,385	36,022	35,658	35,294
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
一般廃棄物排出量	kg	4,438	4,394	4,349	4,305
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
産業廃棄物リサイクル率	基準年度比 %	87	88	89	90
水資源排出量		422	417	413	409
	基準年度比		△ 1%	△ 2%	△ 3%
化学物質の適正な管理と清掃	回	(前年度実績) 23	24	24	24
環境配慮製品販売量	台	23	24	24	24
地域清掃活動	件	(前年度実績) 40	41	42	43
購入資材・事務用品のグリーン購入比率	%	(前年度実績) 64	65	66	67

(2) 2012年度活動計画

取り組み計画

電力の二酸化炭素排出量の削減	一般廃棄物の削減	節水	社会貢献
・冷房温度28℃設定	・裏紙使用	・雨水の有効利用(洗車等)	・公民館の清掃
・暖房温度の18℃設定	・両面印刷コピーの徹底	・トイレに音姫の設置	・周辺道路の清掃
・不要・休憩時間照明の消灯	・ミスプリントを減らす		
・OA機器のこまめOFF	・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底		
・エアコンフィルターの月1清掃	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	化学物質の低減	購入資材・事務用品のグリーン購入
・緑のカーテン		・化学物質の適正な管理及び清掃	・事務用品グリーン購入対象品及び比率調査
・断熱フィルム	産業廃棄物(廃プラ)の削減	・塗装場清掃徹底1回/月(年12回)	・購入資材の環境配慮
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減	・委託処分廃棄物の削減	・在庫管理を行い在庫を減らす	・省エネ性能の高い電気製品の購入
・急加速発進の抑制	・工事での産廃の分別徹底	製品への環境配慮	・エコカーの購入
・冷暖房の控えめ使用(25℃)	・廃油を減らすために自社のクーラント装置取付	・クーラント製品・遠心分離機等環境	・クールビズ・ウォームビズ制服の購入
・買換え時はエコカーを購入する		・環境配慮型クーラント製品開発予定	